

第4回 学校生活部会 会議報告

日 時:令和8年3月4日(水)

17時~18時30分

場 所:岡谷西部中学校 応接室

○次 第

- 1.開会
- 2.議題
 - (1)制服の検討について
 - (2)令和8年度の行事活動等の検討について
- 3.意見交換
- 4.閉会

○部会で出された主な意見

【制服の検討について】

▶制服について

- ・制服アンケート結果の報告(川岸学園及び市内全体)について、保護者は制服の必要性を強く感じており(約86.7%)、「機能性」や「価格」を重視。一方で児童生徒は、約59.3%が「あった方がよい」と回答したものの「なくてもよい」派も約33.4%おり、保護者より必要性を感じていない傾向がある。選ぶ際には「デザイン」を最も重視している。
- ・導入開始時期については、保護者・児童生徒ともに「7年生(中学1年生)から」の着用を希望する声が多い。
- ・松本市や塩尻市の中学校は、学校ごとで制服を決めている。岡谷市の様に市内の全ての学校が同じ制服を着用してるところは少ない。

▶かばんについて

- ・中学校のかばんについては、利便性の向上を目指し、現行の横型から「縦型かばん」への変更を検討。小学校のかばんは現状維持を基本としつつ一部改善を行い、高学年からは希望により中学校の縦型かばんを先取りで利用できる運用も検討していく。
- ・縦型となった経緯の確認があったので、確認する。

▶今後の方向性とスケジュール

- ・市内の校長会での協議を受け、各中学校に生徒が参加する「制服検討委員会」を立ち上げ、生徒自らが制服のあり方や学校のルールを検討する場を設ける方向。
- ・令和9年度の開校に合わせ、制服をモデルチェンジする場合、令和8年度の早い段階でデザイン等を決定しなければならず、スケジュールが非常にタイト。
- ・大人が決めるのではなく、子どもたちの主体性を発揮させ、時間をかけて制服について議論する「学びの場」が大事である。そのような機会として「制服検討委員会」が立ち上がるのであれば、今後は学校生活部会ではなく、他の3中学校と足並みをそろえ、「制

服検討委員会」の中で、生徒主体で制服の検討を進めていく事が良いという提案があった。

・学校生活部会として以下の方針について、承認し設立準備委員会へ報告する。

⇒新たに立ち上がる「制服検討委員会」の中で、生徒主体で制服の在り方の検討を進める。また、令和9年度からの義務教育学校開校時の制服変更は見送ることとし、制服を変更とする場合は、令和10年度以降で進めていくこととした。

・令和10年度に7年生になる児童については、新しい制服が決まるまでの期間の服装をどうするか(特例として1年間制服なしとするか、現行の制服を購入するか等)など、経済的な負担への配慮も含めた丁寧な対応が必要である(検討事項)。

【令和8年度の行事活動等の検討について】

▶小中合同行事の試行

・避難訓練:これまで引き渡し訓練の一部を合同で行っていたが、来年度は避難訓練の全て(第1次避難から引き渡しまで)を小中合同で実施する方向で調整が進んでいる。

・運動会:小学校の運動会は仮設校舎のグラウンド事情により令和8年度は市民総合体育館で実施予定であり、中学生の参加は負担が大きい。ただし、PTA種目(地域ふれあい種目など)に中学生が参加できる形を検討してはどうかという意見が出た。また、陸上部の中学生が模範走を披露するなどのアイデアも出された。

・音楽会・文化祭:中学校の文化祭の際に、小学生が作成した作品を展示するスペースを設ける案が出された。また、小学校の音楽会に中学校の吹奏楽部や中学生の合唱を組み込むことで、小学生が良い刺激を受けることができるのではないかと意見が交わされた。

・行事の組み立てにおいて、中学生が進行役を担ったり、子どもたちがゼロから企画・考案していくような、主体性を引き出す工夫を取り入れることを学園に期待したい。

・これらの行事や交流については、学校デザイン部会で作成中のグランドデザインの目標やビジョン(子どもをどう育てるか)を軸に据えながら、具体的な形を検討していく必要があるため、グランドデザイン(案)の各部会への横展開を早めをお願いしたい。

【今後の進め方】

次回は、学校デザイン部会で検討中のグランドデザインの内容を共有しつつ、令和8年5月中旬(11日の週)を目途に開催する予定。

【その他】

川岸小(保護者)伊藤こず恵さんより、構成員からの退会(お子さんが川岸小を卒業し市外の中学へ)の話があった。